

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 総合体育館バリアフリー整備事業
-------------------	------------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	3	障害者福祉の確立
小分類	2	障害者（児）の自立促進
主要な施策	6	生活環境の整備
事務事業番号	005	事務事業コード 13326005 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	総合体育館バリアフリー整備事業
------	------	------------	-----------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

**事務事業の目的と成果**

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 総合体育館利用者
手 段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 誰もが安心、安全に利用できるよう施設のバリアフリー化を行う。  【整備内容】 1 玄関部の段差解消 2 車椅子対応便所設置
目 指 す 姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 高齢者や障がいをもつ方等、誰もが安全、安心して施設を利用できる。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

**指標の推移**

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標		人	目標値	64,000				
			実績値	61,724				
			目標値					
			実績値					

## 事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称 障害者自立支援対策推進費補助金	千円	2,100					0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	854					0
合 計				2,954	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	165	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		165	0			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である  妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？
総合体育館を誰もが安心、安全に使用できるた めのバリアフリー対策は、施設の管理者である 市が行うべき。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている  どちらかといえばあ がっている  成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？
玄関前の段差解消や車イスに対応するトイレを 整備することにより、今まで施設の使用に不便 をかけていたた障がいをもつ方が利用しやす くなった。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる  少し向上させるこ とができる  向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？
オストメイト等の設備を設置することにより、 更に誰もが安心して使用できる施設にすること ができる。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる  削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由はなんです か？
平成21年度終了事業である。			

## 担当グループによる評価

終了	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	平成21年度終了事業。
----	----------------------------------	-------------

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考	
----	----	--

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）